

# 地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 錬磨する人間

2018/5/23 (月) 発行

校長通信 NO16

北海道日高高等学校

町田英謙

## はじめに

全道各地に春の便りを告げる『桜の開花宣言』が公表され、ゴールデンウィークも終了しました。

生徒・教職員全員が元気に登校でき、有意義な連休だったことが何より一番でした。これも教職員が日頃から生徒との対話を大切に丁寧な指導の成果であり、安定した教育活動を実践できることに改めて感謝申し上げます。

今後、定体連や生活体験発表大会、こもれび祭の準備等、沢山の行事に向け、なお一層、学校運営のご尽力をお願い申し上げます。

## 全道校長会総会・前期研究協議会の報告

5月8日(火)、9日(水)、ホテルライフオーブ札幌において、全道校長会が開催されました。全道の道立・市町村立・私立の校長が一同に会して様々な伝達確認と交流が成されました。(全道290校)

今年度の全道校長会では、北海道教育委員会の所管事項説明で、柴田教育長をはじめ道教委の大黒柱である各局長から説明があり、それぞれの思いを直接受け取ることができました。

別紙の全道校長会研究協議会報告書に記載しましたが、大切な内容について抜粋して報告します。

### I 北海道教育委員会教育長 柴田達夫 様

校長先生におかれましては北海道教育の充実・発展にご尽力いただき感謝申し上げます。

- 1 北海道教育推進計画(5年間)…「自立」と「共生」の基本理念のもと策定した。
- 2 社会に生きる力の育成…地域との協働、カリキュラムマネジメント、地域では高校が最後の砦であり生徒に3年間で身につけさせる。
- 3 特別支援教育の充実…特別支援学校のみならず普通高校でも対応(通級の活用)
- 4 いじめ・不登校の対応…未然防止が原則、早期発見で対応、組織で対応  
昨年度、全道で3件発生、うち2件は部活動いじめの認識不足、不登校の事案に配慮
- 5 働き方改革…3月に北海道アクションプランを策定 週60時間以上の残業者をゼロにする。  
部活動休業日の設置(保護者への理解)
- 6 信頼される学校づくり…飲酒運転、わいせつ行為道民の信頼を失う行為、指導の徹底

変化の激しい時代、子どもたちに社会に出た時、何が必要かひとつでも高校時代に持たせる。

### II 学校教育局指導担当局長 赤間幸人 様

- 1 教職員の資質能力向上について
- 2 教育の情報化の推進について
- 3 部活動休養日等の完全実施について

### 4 生徒指導及び学校安全について

- (1) いじめの問題への対応
- (2) 自殺予防教育
- (3) 安全教育の充実
- (4) 自転車の安全利用に向けた安全指導の徹底

### 5 学校体育及び健康教育の充実について

- (1) オリンピック・パラリンピック教育
- (2) 学校保健委員会の活性化
- (3) 学校における食育の推進

### 6 高校教育に係る事項

- (1) これからの時代に求められる資質・能力の育成について
- (2) グローバル人材の育成について
- (3) 高等学校における特別支援教育
- (4) キャリア教育の充実について

### 7 学校経営に係る事項

- (1) 学習指導要領の質的転換について
- (2) 生徒の発達の支援について
- (3) 高大接続改革と学習指導要領改訂のスケジュールを踏まえた対応について

## III 教育指導監 小形秀雄 様

### ・新学習指導要領 第2巻

- 育成する教育目標(資質能力)
- 学校教育目標を変える
- 総合的な探究の時間  
⇒ 目標に照らし合わせる
- PDCAサイクル ⇒ 年間で評価、改善  
半期等で評価、改善
- 危機管理
- 教育の本質を見逃さない

どの提言に関しても大きく時代が変化する中で、学校が抱える課題を示したものです。本校でもすでに解決している課題もありますが、立ち遅れることなく、スムーズに対応していきますのでご協力を願います。

## 高等学校配置計画地域別検討委員会の報告

5月11日(金)、今年度、第1回目の高校配置計画会議が日高合同庁舎で開催されました。参加対象は、各町長、教育長、公立高等学校長、中学校長、小学校長、各町PTA代表者、各町経済団体代表者が、日高地区の町関係者及び学校関係者等と意見交換し、地域との連携を深めるため、本協議会を開催することとなっております。

本校においても学校の存続において道の基準がひとつの要因となりますので、定時制定数の下限が二桁ですので、現状以上の生徒数確保を目指して、道外・道内の入学希望生徒への情報提供をしていくこと。そして、本校がこれまで継続してきた『日高高校』だからできることを魅力として、学校づくりに協働していく必要があります。

今後も『地域と共にある学校』、『魅力ある学校』を心に刻み、日々の教育活動に情熱を注いでいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。